

保護者・地域用

令和3年度

前期学校自己評価のお知らせ

保護者の皆様へ

これは、前期に行った「学校自己評価」の結果です。学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。「教職員の自己評価」と「児童アンケート」、そして、「保護者アンケート」の結果と考察を掲載しています。これらの評価の結果を踏まえて、学校改善に向けた後期の教育活動を進めていきます。

お時間がある時によくお読みいただき、本校の教育活動に対して御理解いただきますと共に、今後も御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

糸島市立東風小学校

校長 重富 泰敏



糸島市立東風小学校

児童・教師評価の結果と考察(前期)

【評価方法】 4段階 [4 : よくできている 3 : ほぼできている 2 : やや不十分 1 : できていない]
(4 : 80%以上 3 : 60~79% 2 : 40~59% 1 : 39%以下)

重点目標における子どもの姿の評価の概要

【本年度の重点目標】

学びの中で自分のよさを発揮し、仲間とともに育つ子どもの育成

○基礎的・基本的な学習内容や体力を身につけた子ども

○自分で考え、友にかかわり、学びの中で自信を深める子ども

○学習の構えや習慣を身につけた子ども

【学校満足度】

重点目標における子どもの姿

児童

1 学校生活を楽しく過ごしている。

3.56

【ぐんぐん育つ】意欲を持って学び、自分で考える子ども

質 問 項 目	児童	教師
2 学習する構えができている（学習準備と姿勢等）	3.35	2.85
3 話している人の方を向いて、目と心で聞いている。	3.38	2.61
4 じっくり考えて、自分の考えを書くことができている。	3.46	2.79
5 自分から進んで考えたことを発表・交流している。	3.20	2.70
6 英語の学習の時、楽しくきいたり話したりしている。	3.54	
7 タブレットを使って、進んで学習することができている。	3.70	
8 宿題を毎日、決められた時間にきちんとしている。	3.33	3.13
この観点の平均	3.42	2.82

【にこにこ育つ】正しいこと、優しいことを進んでできる子ども

質 問 項 目	児童	教師
9 誰にも自分から進んで大きな声で、あいさつをしている。	3.27	2.52
10 やさしい言葉で友だちに話している。（チクチク言葉は使っていない。）	3.46	2.85
11 東風小のきまりを守ることができている。	3.60	3.06
12 困っている友だちや下級生にやさしくすることができている。	3.45	3.06
13 自分のことが好きである（自分のことを良く思っている）	3.16	2.85
この観点の平均	3.39	2.87

【すくすく育つ】健康・安全に気をつけ、身体を鍛え、やりぬく子ども

質 問 項 目	児童	教師
14 友だちとさそいあって、外で元気に遊んでいる。	3.54	3.18
15 自分の係や当番の仕事を最後までがんばっている。	3.69	3.22
16 進んで、黙々と時間一杯そうじをしている。	3.51	2.76
17 自分の物は、自分できちんと管理している（くつ、かさ、机の中、棚等）。	3.61	2.88
18 規則正しい生活ができている（早寝・早起き・朝ご飯）。	3.39	2.88
この観点の平均	3.55	2.98

重点目標における子どもの姿の評価の考察

〈全体考察〉

- ・ 新型コロナウイルス感染症防止のためのいろいろな制限や制約のもと、子どもたちは本当によくがんばりました。健康に留意しながら、先生や友だちとの学校生活を充実したものとなるよう日々努力してくれていることに感心しています。
- ・ どの評価項目においても、子どもの自己評価は高く、教師の評価は低いという結果になりました。このことから、子どもは、どの項目においても努力をし、自分なりに高まりを感じていると言えます。一方、教師は、「もっと高めたい。」という意識があり、低い評価になっていると考えます。

〈「学校満足度」の考察〉

- ・ 「学校生活を楽しく過ごしている。」の質問項目は、高い数値を示しています。とても素晴らしいことだと思います。アンケートの中で最も大切な質問項目であると考えているからです。この結果から、多くの子どもたちが、学校を楽しく過ごせる場として生活していることがわかります。今後は、マイナスの評価をしている子どもについては、個別に支援していくことで、さらに多くの子どもたちにとって楽しく、安心して過ごせる場となるようにします。

〈「ぐんぐん育つ」の考察〉

- ・ 問9の「タブレットを使った学習」については、児童の評価は高い数値となっています。教師については、週7時間以上のタブレットを使用した授業の実施について問いましたので、数値はありません。多くの子どもがタブレットを学習の道具として積極的に使用していることがわかります。今後も、タブレットの使用に苦手意識のある子どもについては、個別に対応し、学習の充実を図りたいと考えます。
- ・ 問5の「自分の考えの発表・交流」については、児童・教師共に低い数値でした。感染症防止のために、ペアやグループ交流を行えないといった制約があったことにも起因していると考えられます。
今後も授業場面で自分の考えをつくる場面（書く活動）を位置づけ、友だちと考えを練り合うことで、自分や友だちの考えがより深められることを実感させられるよう、授業改善に努めていきます。

〈「にこにこ育つ」の考察〉

- ・ 問11の「きまりを守る」については、児童・教師共に高い数値でした。新しい行動様式を子どもたちは受け入れ、しっかりと守ろうと努力した表れだと言えます。今後も一人一人が基本的な感染対策を身につけ、自ら判断していくことができるように指導します。
- ・ 問12の「思いやり・親切」についても、児童・教師共に高い数値になっています。行事等で下級生に接する機会が少なくなっている状況ですが、日常の中で困っている人に寄り添ったり下級生に優しく接したりすることができていることから、子どもたちの心の成長を感じます。
- ・ 問7の「あいさつ」については、児童・教師共に低い数値でした。マスクを着用していることにより、あいさつが伝わりにくかったり、しにくかったりしたのだと思います。大きな声を出さずとも、丁寧な会釈や、相手を大切に振る舞う方を今後も伝えていきたいと考えます。校内では、自ら挨拶ができる児童もたくさんいます。よさを大いに褒め、子どもたちに広めていくようにします。

〈「すくすく育つ」の考察〉

- ・ 問14の「外遊び」の項目は、児童・教師共に高い数値でした。感染対策や熱中症対策などで外遊びができない日もありましたが、可能な日は外で元気いっぱい遊ぶことができています。外で遊ぶことができない日は、室内の遊びを創意工夫し、休み時間を楽しく過ごすことができました。
- ・ 問15の「係当番の仕事」の項目は、児童・教師共に高い数値でした。子どもたちは、自分の仕事に責任をもって取り組むことができていると感じます。感心しています。
- ・ 問18の「規則正しい生活」については、児童・教師共に数値を上げたいところです。子どもたちが学校生活を充実させるためには、早寝・早起き・朝ご飯の基本的な生活習慣が必要です。御協力をお願いします。

保護者評価(アンケート)の結果について

1 実施期間 令和3年7月1日(木)～7月15日(木)

2 調査対象者数 617

3 回答数 461 (回収率 74.7%)

: 4 評価
 : 3 評価
 : 2 評価
 : 1 評価

項 目	お子様の姿・学校の姿		評 価	
I 学校満足度	1	お子様は、学校生活を楽しんでいますか。	3. 5 4	290 136 27 8
	2	お子様は、ご家庭で自分から進んで学習していますか。	3. 1 1	168 202 66 25
II 家庭での様子から、めざす子ども像の達成度	3	お子様は、相手の気持ちを考えながら、友だちと仲良く遊んでいますか。	3. 3 6	213 207 35 6
	4	お子様は、地域や家庭で、気持ちのよい挨拶ができていますか。	3. 0 9	148 221 79 13
	5	お子様は、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯等）が身についていますか。	3. 3 5	236 166 40 18
	6	お子様は、家の仕事や学習を、最後までめきらずにやり通すことができますか。	3. 2 0	185 193 72 11

I 学校満足度

コロナ禍で生活面や学習面での制約がある中、子どもたちが学校で楽しく過ごすことができていることが嬉しいです。今後も、子どもたちが学校で安全に安心して過ごすことができるように全職員で努力していきます。

II めざす子ども像の達成度

どの項目もある程度は高い数値であると考えます。これは、前期の様々な取組を通して、子どもたちが目標に向かって努力してきた成果だと考えます。しかし、「問2：学ぶ意欲」「問4：挨拶」「問5：規則正しい生活」「問6：根気強く取り組む態度」に関しては、マイナス評価も見られます。御家庭との連携・協力を大切に、さらに高めていきたいと考えています。

■ : 4 評価 ■ : 3 評価 ■ : 2 評価 ■ : 1 評価

Ⅲ学校の教育活動の充実度	7	学校は、「わかる・できる・楽しい」授業づくりに取り組んでいますか。	3. 3 7	218	200	31	8
	8	学校は、生命尊重や思いやりの心等、豊かな心づくりに努めていますか。	3. 4 5	242	184	24	6
	9	学校は、いじめのない安心した学校・学級づくりができていますか。	3. 4 0	229	191	30	7
	10	学校は、体育や食に関する指導を通して健康づくりに取り組んでいますか。	3. 4 8	252	178	21	6
	11	学校は、掃除指導や校内の環境づくりに努めていますか。	3. 3 5	221	181	46	7
	12	学校は、学級通信等で、学校や子どもたちの様子を積極的に伝えていますか。	3. 4 1	249	158	39	12
	13	学校は、家庭や地域と協働して子どもを育てていますか。（コミュニティ・スクール）	3. 3 2	200	212	40	6
	14	学校行事（運動会等）は、子どもにとって充実した取組になっていますか。	評価 できない				
	15	学校は、新型コロナウイルス感染症防止のための取組は充実していますか。	3. 5 8	296	139	17	7

Ⅲ 学校の教育活動の充実度

ここでは、教職員がどのように教育活動を進めているのかについて聞かせて頂きました。全体的に見て、ある程度高く評価して頂いていることに感謝します。保護者の皆様の御理解が、私たち教職員にとって、とても心強く感じています。今後も、子どもたちの確かな学力や豊かな心、たくましい身体を育むことができるように努力を重ね、子どもたちのよりよい成長に向け教育活動を進めていくと共に、その様子を可能な限り皆様にお伝えしていく工夫を行っていきたいと考えます。

また、後期には、問11「掃除指導や校内の環境整備」を強化し、さらに充実した「学習活動づくり・人間関係づくり・環境づくり」を行うことで子どもが安心して生活し、集中して学ぶことができる学び舎にしていきます。

今後も引き続き、子ども一人一人のよさやがんばりに目を向けた教育活動を心掛けて取り組んでいきます。どうぞ御理解と御協力の程、よろしくお願い致します。

保護者アンケート自由記述について

アンケートでは、自由記述欄を設けました。そこには、たくさんの貴重な御意見や御感想をいただきました。紙面の都合上、すべての紹介をすることができませんが、職員でしっかりと確認し合った内容を報告させていただきます。

成果

お子様が学校生活を楽しく感じることができていることを伝えて頂いたり、私共教師のがんばりを認めて頂いたりした感想をいただき、大変うれしく思います。

○ 子どもが元気に登校していることや、安心・安全の学級づくりに対する感謝

- ・子どもは安心して元気に学校に通うことができます。
- ・何かあれば子どもが話しやすい環境をつくっていただいていると思います。
- ・子どもが先生から褒められたことを嬉しそうに話してくれるので、しっかり見ていただいていることがわかります。

○ 何かあったときの学校の対応への安心感と感謝

- ・体調悪いときやけが等の連絡　・欠席したときの連絡
- ・友達関係等で問題がある際の対応と家庭への連絡

○ 新型コロナウイルス感染症防止のための取組への感謝

- ・子どもたちのモチベーションが下がらないような工夫　・読書環境の整備（蔵書数の増加）
- ・教師による毎日の消毒作業　・感染対策をとった生活様式、学習様式

課題

● 豊かな心の育成について

- ・ゲームに入らないと友だちにおいていかれるようです。ゲームの時間も増えています。
- ・新しいクラスで仲のよい友だちができていないようで心配です。

→ 子どもたちのよりよい友だち関係を築いていくことは、安心した学校生活を送る上で重要です。日々の授業や行事や取組の中で協力や仲間作りの視点をより一層大切にし、よりよい集団づくりを目指します。

ゲームの使用については、SNSに関する使用等を含めて学校でも指導を継続して行います。今年度もPTAから「SNS東風ルール」を配布されますので、御家庭でもこれを機会にルールづくりやルールの見直しを行っていただければと思います。

● 学習参観や集会、行事の減少について

- ・新型コロナウイルス感染症防止のために学校に行く機会が減ったので様子が分らないです。
- ・行事やプールがないなど、コロナウイルスによる変更が多く、不憫に感じます。

→ 学校へ来て頂く機会が減っていることについては、私共も大変残念に思っています。今年度も県教育委員会や市教育委員会の指針の下、学校の実情に応じてコロナウイルス感染状況に応じた実施方法等を検討しながら可能な限り進めていきたいと考えます。また、来校の機会が減ったことにより、保護者の皆様には学校の様子が伝わりにくい状況となっており、大変申し分なく思います。今後は、学級通信等で子どもたちの様子を伝えていくことをさらに強化していきます。御家庭でも、学校を話題にしたコミュニケーションを子どもさんにとっていただき、何かお困りのこと等がありましたらいつでも学級担任へ御相談ください。

●学校の環境整備について

- ・トイレは少しずつ改善されているようですが、まだ汚くて使いにくいようです。
- ・コロナ禍で仕方がないのは分かりますが、草がのびているのが気になります。
- ・廊下のささくれが気になります。

→ 学校のトイレに関しては、昨年度から全職員でトイレの洗浄作業をしたり、トイレの外壁に防鳥ネットを設置したりして改善を図ってきました。今後も定期的に職員でトイレの状況を確認し、清潔なトイレとなるよう努めます。

除草については、職員が定期的に草刈りを行ってはいるものの夏場は草の生長に追いつかないのが現状です。8月にはPTAからシルバー人材センターに依頼していただき、除草作業が行われました。9月以降も子どもたちの使用頻度の高いところを優先に、除草作業を行っていくことを続けていきたいと考えます。

廊下のささくれについては、適宜安全点検を行い、対応に努めます。

◆ 後期の教育活動の方針と方策

1 本年度の重点目標

学びの中で自分のよさを発揮し、仲間とともに育つ子どもの育成

○基礎的・基本的な学習内容や体力を身につけた子ども

○自分で考え、友にかかわり、学びの中で自信を深める子ども

○学習の構えや習慣を身につけた子ども

2 「ぐんぐん育つ」：子どもの育成に向けて

(1) 基礎・基本の確実な定着を図ります。

- ・ 学び方・学ぶ姿勢について、めざす姿を子どもと教師で共通理解を図ります。
- ・ 朝タイムや習熟タイム、宿題の内容や方法を見直し、基礎学力を高めるために工夫します。

(2) 学力テストの結果分析を生かした授業改善を行います。

- ・ 全職員で学力テストの分析と考察を行い、子どもに付けるべき力を明らかにして、授業改善に努めます。
- ・ 学校全体や学年の学力向上プランの検証・改善に努め、協働して学力向上に努めます。

(3) 校内研修を生かし、授業づくり（シン東風スタイルの学習）に努めます。

- ・ 個別最適化学習：ICTによるパッケージとガイドの効果的な活用を図り、個に応じた学習の充実を図ります。
- ・ コース別学習：子ども一人一人が課題を選択し、問題解決的に追究していく学習の充実を図ります。
- ・ 協働的な学習：他者との協働や交流を重視し、問題解決する学習の充実を図ります。

3 「にこにこ育つ」：子どもの育成に向けて

(1) 新型コロナウイルス感染症防止のための行動様式を身につけ、自ら判断し行動できる子どもを育てます。

- ・ 子ども一人一人が基本的な感染対策ができるよう指導します。
(身体的距離の確保・マスクの着用・手洗いとうがいの徹底)
- ・ 子どもが身の回りの状況に応じた行動ができるよう指導します。

(2) 規範意識と思いやりの心、生命尊重等を身につけた子どもを育てます。

- ・ すべての教育活動において自分も他者も大切にする人権教育の充実を図ります。
- ・ 「命の畑」における栽培活動や飼育活動の体験を通して、心の教育を行います。

(3) いじめを許さない学級づくりに努めます。

- ・ 職員間で学級の状況や子どもの状況を把握し、よりよくするための意見交流を活発に行いながら、より多くの職員で子どもたちを見守り対応していきます。
- ・ 気になることがあればすぐに保護者の皆様に連絡し学校と家庭で連携して解決していきます。

(4) 自分のがんばりやよさを実感できる子どもを育てます。

- ・ がんばりや伸び、取組の様子を価値付けし、達成感や満足感を感じられるよう指導します。

4「すくすく育つ」：子どもの育成に向けて

- (1) 家庭・地域との連携により、子どもの生命や健康を守ります。
 - ・ 家庭・地域との連携のもとに、安全、防災、健康に関する教育を計画的に実施します。
 - ・ 事件や事故に遭うことがないように、日常の安全指導を行います。
- (2) 「もくもくそうじ」ができる子どもを育てます。
 - ・ 自ら進んで、だまって、最後まで掃除をすることを通して、生活環境をきれいにしようとする意志、能力、態度を育てます。
- (3) 最後まであきらめずにやり抜く態度を育てます。
 - ・ 子どもたちの取り組みの過程を見守り、子どもたちを励まし、認め、褒めて伸ばしていきます。

「本校教育活動に関するアンケート」に御協力頂き、ありがとうございました。